

お母さんの病院

84

「あたたかな医療をめざして」

諏訪中央病院 リレーコラム

お母さんが主役の あたたかいお産を めざして

産後は母乳育児を中心にお母さんと相談しながら授乳のサポートをしており
ます。

産後の母子の孤立を防ぎ、育児をサポートするために、母乳外来、生後2〜3カ月相談、3歳までの子育てサークルなども開催しています。最近では、手形・足形アートの会や抱っこ講座など新たなイベントも開始しました。諏訪中央病院助産院のインスタグラムも開設し、他院で出産された方もご利用したサークルやイベントを利用していただけるように発信しております。

当院でのお産を知りたい、里帰り出産、もちろん妊娠確認の初期から受診希望の方もぜひ気軽に問い合わせください。立ち会い出産や産後の面会も再開しております。

お母さんが主役のあたたかいお産をめざして、安心してお産ができる場所として選ばれる場所となるよう日々頑張っています。

次回は10月1日掲載予定
(題字は鎌田實名書院長)

2020年1月より、助産師が主体で出産を取り扱う院内助産院となりました。4年目となった現在までに152名の赤ちゃんが誕生しています。ご存じの方もおられると思います

が、今年、産婦人科の常勤医師が1名着任し、医師と協同で妊娠管理を行っているため、より安全で安心な妊娠生活を過ごしていただけます。

妊娠中の外来では、赤ちゃんの成長の確認はもちろん、妊娠中の身体作り、お産・育児の準備をサポートし、お一人30〜45分とゆつくり時間をかけて産婦さんやご家族とのコミュニケーションをとっています。また、当院は、お母さんが本来持つ「自ら産む力」と、

諏訪中央病院

小児産科女性病棟師長

ふじ た ゆり
藤田 由理



赤ちゃんが持っている「産まれてくる力」を最大限に引き出して、安心と共にご満足いただけるような出産をめざしています。助産師が産婦さん一人ひとりに寄り添い、不安にならないよう、リラックスしてお産が



できるようにサポートしています。当院の特徴は、総合病院

藤田由理 (ふじた・ゆり)

茅野市出身。2001年諏訪中央病院入職。外科、

内科、整形外科病棟や訪問看護ステーションなどを

経て、19年4月から小児産科女性病棟勤務。



諏訪中央病院助産院のインスタグラムの二次元コード

のさまざまな職種の専門スタッフによるケアを受けることができるということです。助産師や看護師はママニティヨガ、妊婦ヘルス

諏訪中央病院で産まれた赤ちゃんの沐浴(もくよく)の様子
ケアトレーナー、アロマセラピスト、母乳支援などの資格を有しておりさまざまな角度からのサポートが充実しています。
加えて、小児科医師との連携、理学療法士による妊娠中の腰痛や産後の骨盤ケア、管理栄養士からは妊娠中の栄養や入院中の食事、離乳食の相談、逆子や冷えの相談は鍼灸師、薬剤師による内服指導など多職種で連携してお母さんと赤ちゃんに関わっております。また、2013年にWHOとユニセフによる「赤ちゃんにやさしい病院」に認定さ